

大正区を知る -渡船-

「大阪市の渡船」は、その歴史的価値から、日本船舶海洋工学会により「ふね遺産」の1つに登録されています。

市内8か所の渡船場のうち、実に7か所が大正区にあります。自転車も乗せることができ、毎日多くの人に利用されています。

『大正区魅力マップ -区制 90 周年記念-』大正区役所
[2022] *ID 0015188131

『渡船場マップ -Ferries Map-』大阪市建設局渡船事務所
[2008] *ID 0012089755

『旧跡・渡船場表示板』大阪市大正区役所区民企画室
2005 *ID 0011002070

『わがまち大正 -大正区制施行 70 周年記念誌-』大正区制施行 70 周年記念事業実行委員会 2003

*ID 0010499553

大阪市大正区:大正区の渡船

<https://www.city.osaka.lg.jp/taisho/page/0000000498.html>

ふね遺産:日本船舶海洋工学会 デジタル造船資料館

<https://zousen-shiryoukan.jasnaoe.or.jp/funeisan/>

この調べかたガイドでは、大正区をテーマに4つのトピックを選び出し、それについて調べるのに役立つ情報源を、わかりやすく紹介しています。

大正図書館に所蔵しているものは、IDの前に*をつけて表示しています。(*の無いものも所蔵館から取り寄せできます。)

ID 大阪市立図書館の「書誌ID」(お問い合わせの際にお伝えください)

小学生から読めるものはID番号の後に  オムリンマークをつけています。

WEB 大阪市立図書館のホームページ

紹介した資料やホームページなどはほんの一例です。図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも「よくある質問」や区に関する資料のリストを掲載しています。

より詳しくお知りになりたいときは、図書館のカウンターへご相談ください。図書館司書がお手伝いします。

調べかたガイド:各区版

大正区の調べかた

大正区の史跡・名勝・建築 -橋-

大正区の人物・伝説 -中村勘助-

大正区の民俗・文化 -沖縄-

大正区を知る -渡船-



大正区マスコットキャラクター
ツーギ

大阪市立大正図書館

〒551-0003 大阪市大正区千島2-6-15

TEL 06-6552-1116

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp>

開館時間 火～金曜日(第3木曜日は休館)

10:00～19:00

土・日曜日、祝・休日、7/21～8/31の月曜日

10:00～17:00

休館日 ●月曜日、第3木曜日(祝・休日は開館)

7/21～8/31の月曜日は開館

●年末年始 ●蔵書点検期間

大正区の調べかた

Ver. 4 2023. 10改訂

大正区の史跡・名勝・建築 -橋-

東に木津川、西に尻無川が流れ、大阪港に臨む大正区。内港や運河もあり、水路に囲まれています。

これらの水路を越えるには、昔は船しかありませんでしたが、技術の進歩により、現在は、その下を船が通れる大きな橋や、デザインに特色のある橋が、いくつも架けられています。

大正区の名前の由来となった初代の大正橋は、1915(大正4)年に作られ、1977(昭和52)年に、現在の姿になりました。

大正区の橋について書かれた資料を紹介します。

『大正島今昔帖 橋の巻』大阪市大正区 [2015]

*ID 0013556719

『大阪の橋ものがたり』伊藤純/著 創元社 2010

*ID 0012065127

『大阪の橋』大阪市建設局 2010 *ID 0012450557

『わたしたちのまち大正区』大阪市大正区役所 2007

*ID 0011422720

『懐かしい大正区の風景 -春季写真パネル展-』大正区

役所・なにわの海の時空館 2006 *ID 0011265202

『大正区の歴史を語る』大阪市大正区役所 2005

*ID 0011112171

『大阪の橋 -大阪市における橋梁技術のあゆみ-』大阪市土木技術協会 1997 *ID 0000639234

大阪市大正区:大正区の橋

<https://www.city.osaka.lg.jp/taisho/page/0000000471.html>

WEB 大阪市立図書館 HP→デジタルアーカイブ→簡易検索→「大正橋」で検索



大正区の人物・伝説 -中村勘助 ほか-

大阪が難波と呼ばれていた昔、大正区のあたりは海でした。江戸時代になって、町人請負新田が作られるようになります。

中村勘助は、木津勘助とも呼ばれ、三軒家を開発し、木津川を掘り下げて航行しやすくするなどの功績を上げました。飢饉の時には、飢えに苦しむ人々を助け、上八坂神社に碑が建てられています。

ほかに、泉尾の北村六右衛門や千島・恩加島の岡島嘉平次らが新田を開発し、明治・大正に入ってから、大井伊助や中山悦治らが地域の発展に尽くしました。

『わたしたちのまち大正区』大阪市大正区役所 2007

*ID 0011422720

『大正ガイドブック -まち案内人-資料集-』大阪市大正区役所 2007 *ID 0011422725

『中村勘助(木津勘助)その人と生涯 -大正区のあけぼの-』[大正区役所][2002] *ID 0010786812

『大阪史蹟辞典』三善貞司/編 清文堂出版 1986

*ID 0000214926

大正区の民俗・文化 -沖縄-

大正区には沖縄にゆかりのある方々が多く住んでいます。

大阪沖縄会館(千島3)は、1974(昭和49)年に建設され、大阪沖縄県人会連合会の本部が入っています。また、関西沖縄文庫(小林3)は、1985(昭和60)年に開設され、沖縄関係の図書資料を多数所蔵しています。

区内では、毎年8月と9月にエイサー祭りが開かれ、多くの人でにぎわいます。

大正図書館は、1986(昭和61)年度に開館以来、沖縄・奄美に関する資料の収集に力を入れています。各年度に新たに収集した資料のリストを、ホームページで公開しています。

『大正島今昔帖 琉の巻』大阪市大正区 [2015]

*ID 0013556716

『大正区の歴史を語る 2』大阪市コミュニティ協会/編集 大阪市大正区 2015 *ID 0013507195

WEB 大阪市立図書館 HP→大正図書館→アクセス・施設案内→「特長ある所蔵資料: 沖縄関係資料」

